

**平成 2 9 年 度
印 教 研 国 語 研 究 部 定 期 総 会**

平成 2 9 年 5 月 9 日 (火)
会 場 : 成 田 市 立 成 田 中 学 校

1 開会の言葉

2 研究部長挨拶

3 議長選出, 書記任命 (3 部会)

議長 :

書記 :

4 報 告

(1) 平成 2 8 年度事業報告

- ・ 研修専門部
- ・ ひざし専門部
- ・ 広報専門部

(2) 平成 2 8 年度決算報告

5 議 事

(1) 平成 2 8 年度事業報告及び決算承認について

(2) 平成 2 9 年度事業計画及び予算の提案並びに承認について

- ・ 研修専門部
- ・ ひざし専門部
- ・ 広報専門部
- ・ 予 算

(3) 平成 2 9 年度の研究部役員選出について

(4) 平成 2 9 年度印教研分散会組織について

6 連絡事項

* 千葉県教育研究会より

* その他

7 新旧役員挨拶

8 閉会の言葉

* 事務局より

* 全体会終了後, 教研推進会議を行います。

次の先生方は, 承認後, 必ずご参加ください。

● 「話す・聞く」「書く」「読む」各分散会責任者

● 研修専門部役員

● 1 ~ 5 部会研究部長

よろしくお願いいたします。

場所 : 成田中学校 1 階 会議室

平成28年度事業報告

●研修専門部

1 研究主題

思いや考えを豊かに伝え合い、思考力・判断力・表現力を育てる国語科学習の創造

分散会(1) 生き生きと学び、「話す・聞く」力を高める国語科学習のあり方

分散会(2) 生き生きと学び、「書く」力を高める国語科学習のあり方

分散会(3) 生き生きと学び、「読む」力を高める国語科学習のあり方

2 平成28年度活動概要

- 5月10日 : 研究部総会
- 6月中旬 : 各部会教科研修会(1部会10日, 2部会10日, 3部会14日, 4部会3日, 5部会17日)
- 6月13日 : 第1回ひざし研修会
- 6月21日 : 教研推進委員会(教研集会の持ち方, 役割分担等)
- 8月5日 : 教研全体集会担当者・係打合せ会議
- 8月24日 : 教研全体集会
- 10月～11月 : 各部会教科研修会
- 10月18日 : 教研推進委員会(教研全体集会反省)
- 2月10日 : 教研推進委員会(本年度の反省と次年度の課題), 第2回ひざし研修会
- 4月19日 : 教研推進委員会(総会資料作成)

3 平成28年度教育研究全体集会について

(1) 期日及び会場 平成28年8月24日(火) 9:30～16:00(受付9:00)

- 「話す・聞く」分散会 印旛公民館 大ホール 約80人
- 「書く」分散会 本埜公民館 視聴覚室 約90人
- 「読む」分散会 本埜公民館 大ホール 約280人

(2) 印教研全体集会の提案内容

分散会	研究主題	提案者	助言者
話す・聞く 印旛公民館	自分の思いや考えを表現し、伝え合う力を養うための学習指導の工夫 ～学び合い学習を通して～	四街道市立 四街道西中学校 国語研究部 (5部会)	【助言者】 北総教育事務所香取分室 指導主事 海寶 和宏 様 北総教育事務所 指導主事 秋葉 佳子 様
	主体的協働的に考え、話し合う子どもの育成 ～小グループの合意形成を通して～	印西市立木刈小学校 (3部会) *代表 教諭 平野 史子	【責任者】 栄町立安食台小学校 教頭 飯野 浩二
書く 本埜公民館	「伝えたい思い」を明確にして書くことのできる生徒の育成 ～「視点」をもとに～	八街市立八街北中学校 (4部会) *代表 教諭 鈴木 三香子 *H28, 29印教連指定	【助言者】 富里市立洗心小学校 校長 玉井 清人 様 成田市立成田小学校 教諭 白石 厚子 様
	豊かな感情表現ができる子を目指して ～発達段階に応じた日記指導の在り方～	成田市立平成小学校 (2部会)	【責任者】 佐倉市立西志津中学校 教頭 猪熊 浩文

読む 本塾 公民館	思いや考えを主体的に表現することが できる子どもの育成 ～「読むこと」の指導方法の工夫を通して～	印西市立小林北小学校 (3部会) *代表 教諭 郷田 亮子	【助言者】 北総教育事務所 指導主事 半田 康 様 市原市立辰巳台西小学校 教 諭 一瀬 朋子 様
	誰もが主体的に読める指導の工夫	佐倉立佐倉小学校 教 諭 茂木 珠美 (1部会)	【責任者】 四街道市立四和小学校 教 頭 玉川 幸子

4 その他

*教研集会時にご協力いただいたアンケート結果については、平成28年10月19日付けの国語研究部研修専門部資料に掲載してございます。興味のある方は、研修専門部、研究部事務局、各部会役員に声を掛けてください。

●ひざし専門部

1 「ひざし第69号」編集会議について

- 4月 下旬 専門部会議（「ひざし」69号編集委員委嘱等準備）
- 5月 中旬 募集要項・編集委員委嘱依頼文書等の発送
- 7月 校内選考 一次選考までに各校学年ごとに選考
 - 下旬 「ひざし」69号一次選考（各部会で国語主任等参加）
 - ・一部会 7月23日 [場所：佐倉中央公民館]
 - ・二部会 7月26日 [場所：印旛教育会館]
 - ・三部会 7月26日 [場所：印西中央公民館]
 - ・四部会 7月26日 [場所：交進小学校]
 - ・五部会 7月26日 [場所：千代田中学校]
- 8月 2日 「ひざし」二次選[場所：本塾公民館]（ひざし編集委員参加）
- 8月17日 「ひざし」三次選[場所：本塾公民館]（ひざし編集委員参加）
 - （「努力賞賞状」「購入依頼文書」等発送）
- 9月 中旬 「ひざし」69号「入選・佳作一覧表」「ちらし」「佳作・入選賞状」等発送
- 10月 3日 「ひざし」購入申込〆切
- 10月18日 「ひざし」69号校正会議[場所：印旛教育会館]
- 10月 下旬 専門部会議（配本文書・拠点校依頼文書等の発送）
- 11月 9日 「ひざし」69号拠点校への配本
- 11月 中旬 「ひざし」69号配本完了
- 12月 寄贈本等発送

2 応募作品数 ※（ ）は前年比

	詩	文	短 歌	俳 句	表紙絵
小学校低学年分冊	990(+32)	402(+11)		1720(-391)	35
小学校高学年分冊	1033(+30)	526(+62)	1277(-160)	2165(+193)	97
中学校分冊	618(+27)	841(+40)	698(+79)	792(+16)	10

3 注文数の現状

	第67号	第68号	第69号	前年度比
小学校低学年分冊	1, 918	1, 946	1, 819	-127
小学校高学年分冊	1, 460	1, 445	1, 363	-82
中学校分冊	1, 176	1, 286	1, 248	-38
総 計	4, 554	4, 677	4, 430	-247

4 成果と改善点等

【成 果】

- (1) 刊行に関して……小・中学校分冊とも盗作等の誤り無く刊行。
 - ・盗作防止を徹底できるよう、創作中に過去の「ひざし」を参考とする際の注意と指導を呼びかけたことに効果があったと思われる。
- (2) 選考に関して
 - ・新メンバーに加わっていただき、長年編集委員として貢献してくださっている方々のリードのもとで順調に作品選考を行うことができた。作品数が多い中、手際よく選考していただき、時間内で終了することができた。
- (3) 「ひざし教室」「詩（作文）を選んで」等の執筆者には、今年度も三次選の朝、原稿を提出してもらい、印刷所に出す前に研究部長の先生等の指導を受けられるようにした。
- (4) 各部会の部長に、ひざし担当になってもらうことができ、連絡等スムーズにできた。この形の継続をお願いしたい。

【課 題】

- (1) 全体を通して
 - ・氏名の印漏れ確認 : ゴム印がつぶれている物は教師の手書きでもよい。
 - ・原稿用紙の使い方や表記の仕方
書き出しの「 。」はあけずに1マス目から書く。
○「やったあ。」 ×「やったあ。」「やったー。」 文字の大きさや濃さ
 - ・表紙のコピーは不可
 - ・カット：学校である程度校内選をする。同じ児童が何点も応募しているケースあり。
 - ・応募数に学校差が見られたので、多くの学校に出品していただきたい。（特に中学校）
- (2) 小学校分冊
 - ・詩 : 低学年は、1文があまり長くならない方がよい。
 - ・文 : 会話や改行など、最後は担任の先生に確認していただきたい。
 - ・短歌・俳句 : 特に3年生は作品数が多いので、校内選をしていただきたい。
標語にならないように俳句は季語を入れる。夏以外の作品も。
おおむね擬音語はカタカナ、擬態語はひらがなで表記。
- (3) 中学校分冊
 - ・詩 : 家庭生活に関する作品も。推敲をして言葉の吟味を。
 - ・文 : 構成力・表現力・語彙力を身につけて。
 - ・短歌・俳句 : 本人の直筆で出品していただきたい。

【その他】

(1) 注文冊数の増加に向けて

- ・各学校での「ひざし」の活用の工夫を促し、「ひざし」に関心をもつ児童・生徒を増やしながら、個人購入を呼びかけてもらうようにする。
- ・各学校への公費等による購入を依頼する。(早い段階で、分担して行う。)
- ・市町村立図書館などでの購入を依頼する。(早い段階で、分担して行う。)
- ・国語科をはじめとする学習活動や読書活動などでの活用等について広報する。

(2) ひざし用紙 1冊216円(100枚綴り) 後日、部会ごとに注文を集約。

●広報専門部

1 研究部報「光原」の発行

事業計画に基づき、年間3号の発行に向けて編集会議を開催しながら、以下のように広報「光原」を発行した。

(1)「光原」140号

*発行日 平成28年7月14日

*内 容

- ・「国語科における小中連携について」

国語研究部長 成田市立公津の杜中学校校長 高梨 哲生 先生

- ・平成28年度国語研究部役員
- ・教研集会核分散会提案校の研修主題及び研究仮説
- ・ひざし70周年プロジェクト; ひざしがある風景 成田市立中台中学校 菊地 文彦 先生
- ・ひざし69号編集委員一覧

(2)「光原」141号

*発行日 平成28年12月15日

*内 容

- ・「国語科授業の目指すところ」

国語研究部副部長 印西市立六合小学校校長 久門 恵子 先生

- ・教研集会を振り返って

研修専門部長 印西市立小倉台小学校教頭 関 智之 先生ほか、各分散会より

- ・ひざしプロジェクト 夏休みワークショップ開催 成田市立中台中学校 菊地 文彦 先生
- ・授業の達人から「国語科におけるアクティブラーニング」 栄町立安食小学校 江郎めぐみ 先生
- ・ひざし69号の編集を終えて ひざし専門部長 佐倉市立根郷小学校教頭 佐藤 正子 先生

(3)「光原」142号

*発行日 平成29年3月14日

*内 容

- ・「不易と流行に思いを巡らせる」

国語研究部副部長 佐倉市立臼井中学校校長 中臺 信夫 先生

- ・千葉県教育研究集会報告

「豊かな表現を生み出すには」 成田市立平成小学校 成田 輝江先生

「県教研に参加して」 印西市立小林北小学校 郷田 亮子先生、平本 有先生

「県教研の分散会に参加して」 印西市立木刈小学校 国語研究部の先生方

- ・「学力向上交流会」を終えて 成田市立西中学校 国語科の先生方

2 成果と課題

- 巻頭言を始め、各記事の原稿執筆に対して、毎会号大変協力的に原稿をお寄せいただき、期日等にも配慮いただいて心より感謝しています。ありがとうございました。
- 平成27年度の反省から、編集会議の計画的な開催と作業の効率化を進めることにより、原稿依頼や締切、配布に余裕を持たせられるよう努めました。
- 編集会議を1号につき2回程度、年に6回広報専門部役員で行い発行しました。部会の編集委員の先生方には、配布を中心にお願ひしました。編集の効率化と幅広いご意見等を伺う機会を今後作っていただければと考えます。
- さらに国語研究部員からの声を反映できるような紙面作りの工夫を継続する必要があります

平成28年度決算報告

※本要項12ページに掲載

平成29年度研究部予算計画 (案)

※本要項12ページに掲載

平成29年度事業計画 (案)

●研修専門部

1 研究主題

思いや考えを豊かに伝え合い、思考力・判断力・表現力を育てる国語科学習の創造

分散会(1) 生き生きと学び、「話す・聞く」力を高める国語科学習のあり方

分散会(2) 生き生きと学び、「書く」力を高める国語科学習のあり方

分散会(3) 生き生きと学び、「読む」力を高める国語科学習のあり方

2 平成29年度活動概要

5月 9日(火) : 研究部総会

6月中・下旬 : 各部会教科研修会、ひざしプロジェクト検証授業

6月21日(水) : 教研推進委員会(教研集会の持ち方、役割分担等)

7月 : ひざしプロジェクト提案検討会

8月 8日(火) : 教研全体集会担当者・教研実務会議

8月23日(水) : 教研全体集会

10月～11月 : 各部会教科研修会

10月18日(水) : 教研推進委員会(教研全体集会反省)

2月 9日(金) : 教研推進委員会(本年度の反省と次年度の課題)

3 平成29年度教研全体集会(研究テーマは仮題)

分散会	研究主題	提案者	助言者
話す・聞く 松山下運動公園(多目的室)	主体的に学び、自分の考えを豊かに表現できる児童の育成	佐倉市立根郷小学校 (1部会)	【助言者】 北総教育事務所 指導主事 海寶 和弘 様 印西市教育センター 指導主事 飯野 晋二 様 【責任者】 白井市立立桜台小学校 教 頭 伊藤 忠昭
	主体的に自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成 ～伝え合う喜びを大切にしたい言語活動を通して～	富里市立根本名小学校 (2部会) 教 諭 小林 基樹 教 諭 片井 綾	
書く 松山下運動公園(サブアリーナ)	自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成 ～文集ひざしを活用した授業実践を通して～	ひざしプロジェクト チーム小学校	【助言者】 北総教育事務所 主席指導主事 高橋 紀子 様 成田市立成田小学校 教 諭 白石 厚子 様 【責任者】 佐倉市立西志津中学校 教 頭 猪熊 浩文
	ものの見方・考え方を深め、表現の力を高める作文指導のあり方 ～印旛の文集ひざしを活用して～	ひざしプロジェクト チーム中学校	
読む 印旛公民館(大会議室)	豊かな表現力を育成するための教科指導のあり方 ～国語科の読む指導を通して～	四街道市立和良比小学校 (5部会)	【助言者】 成田市教育委員会 学務課長 高梨 哲生 様 成田市立新山小学校 校 長 半田 康 様 【責任者】 栄町立安食台小学校 教 頭 飯野 浩二
	文章を読みものの見方や考え方を広げる指導	佐倉立南部中学校 (1部会)	

4 日 程

- (1) 午前 : 提案・討議 2 本
- (2) 午後 : 助言者指導, 講演会

5 各分散会講演者

話す・聞く	千葉大学 教育学部教授 寺井 正憲 様
書 く	植草学園大学 発達教育学部教授 戸丸 俊文 様
読 む	信州大学 教育学部教授 藤森 裕治 様

●ひざし専門部

「ひざし」70号発行

- 4月 下旬 専門部会議（「ひざし」70号編集委員委嘱等準備）
- 6月 中旬 募集要項・編集委員委嘱依頼文書等の発送
- 7月 下旬 「ひざし」70号一次選考〔場所：各部会会場〕
- 8月 2日 「ひざし」二次選〔場所：本塾公民館〕
- 8月 中旬 専門部会議（購入依頼文書等の準備）
- 8月18日 「ひざし」三次選〔場所：本塾公民館〕（「努力賞賞状」「購入依頼文書」等発送）
- 9月 中旬 「ひざし」70号「入選・佳作者一覧表」「ちらし」「佳作・入選賞状」等発送
- 10月 3日 「ひざし」購入申込〆切
- 10月18日 「ひざし」70号校正会議（役員会にて）
- 10月 下旬 専門部会議（配本文書・拠点校依頼文書等の発送）
- 11月 上旬 「ひざし」70号拠点校への配本
- 11月 中旬 「ひざし」70号配本完了
- 12月 寄贈本等発送

●広報専門部

- 広報誌「光原」を年間3号（第143号～145号）発行する。
- 各号に教育研究に関する記事を掲載し、教研活動に活用してもらえるよう紙面の充実を図る。
 - ・第143号 教研集会各分散会提案校の研究主題及び研究仮説
 - ・第144号 教研集会各分散会報告
 - ・第145号 県教研集会各分科会報告
- 巻頭言については、各号、研究部長・副部長に執筆を依頼する。
- 研究指定校の実践を紹介する等、研究部員が日常の実践に活用できるような記事の掲載に努める。
- 各号の発行に向けて、編集会議を年間6回程度開催する。
- より読みやすい紙面構成をめざし、A4版を継続し、内容の充実を図る。

（「光原」発行予定）

- ・第143号 … 7月中旬
巻頭言（研究部長）、教研集会に向けて、「ひざし」編集委員紹介 等
- ・第144号 … 12月中旬
巻頭言（研究副部長）、教研集会報告、「ひざし」編集を終えて 等
- ・第145号 … 3月上旬
巻頭言（研究副部長）、県教研集会報告、研究指定校の実践報告 等

※ 低学年（小1.2.3）と高学年（小4.5.6. 中学）は字詰と行数が違います

— 注 意 —

- 1行目に題名、2行目に校名（小・中は書かない）、3行目に学年（○年）と氏名、4行目から本文を書く。
作文の場合は段落ごとに書き出しを一マスあけるが、詩の場合は全て一マス目から書く。
- 作品の最終行の次の行に、「指導○○○○先生」と記入する。
- 、 「 」 『 』 などは一字分使う。ただし 「」 は組んで一字とする。
- 一作品ごとに右上○印のところをとじる。

「ひざし」原稿用紙（小学校四・五・六年・中学校用）

小学校四年以上の詩はここから上へかく。（十六字詰）

文は下までかいてよい。（二十六字詰）

↑ 詩は一マスあけない。

ホチキスで止める。

○ 題 名 ○

市立や小中は書かない。

校 名 ○

○ 年 ○

氏 名 ○

○ 氏 名 ○

※ 作品の最後に指導者名を書く。

指導 ○ ○ ○ ○ 先生 ○

すべその枚数に記入する。

位置の上下は特に指定しない。

詩はここから上で書く。

落し防止のためです。

1枚目に記入（分類作業のためです。）

1枚目に氏名ゴム印を押す。（氏名確認のためです。）

校 名

部会番号

氏名ゴム印欄（

— 有限会社 永野印刷 — 26 × 11

平成29年度研究部役員（案）

- ◎ 研究部顧問 田代 成司（白井市立池の上小学校校長）
- 1 研究部長 松橋 明子（佐倉市立印南小学校校長）
- 2 研究副部長 安西 啓雄（四街道市立四街道西中学校校長）
中壘 信夫（佐倉市立臼井中学校校長）
野田 幸一（印西市立滝野中学校校長）
關 智之（印西市立小林小学校校長）
久門 恵子（印西市立六合小学校校長）
- 3 研究部長委嘱
- （1）研修専門部長 小林すみ子（印西市立原小学校校長）
副部長 榊原 正策（白井市立桜台中学校校長）
副部長 陣内 孝浩（印西市立本埜第二小学校校長）
副部長 三星 典子（佐倉市立臼井小学校教頭）
- （2）ひざし専門部長 佐藤 正子（佐倉市立根郷小学校教頭）
副部長 石川 智彦（四街道市立四街道中学校教頭）
副部長 堀江真由美（白井市立白井第二小学校教頭）
副部長 上島 順子（印西市立印西中学校教諭）
- （3）広報専門部長 渡邊 秀子（成田市立八生小学校校長）
副部長 玉川 幸子（四街道市立山梨小学校校長）
副部長 磯 昌稔（印西市立本埜中学校教頭）
副部長 菊地 文彦（成田市立中台中学校教諭）
- （4）研究総務部長 大高 一穂（印西市立いには野小学校教頭）
事務局長 鈴木 正彦（佐倉市立井野小学校教諭）
庶務幹事 加藤 誠則（酒々井町立酒々井小学校教諭）
小川 英彦（成田市立西中学校教諭）
山中 宣史（佐倉市立染井野小学校教諭）
大野 香菜（酒々井町立酒々井小学校教諭）
加藤 友理（栄町立布鎌小学校教諭）
- 会計幹事
- 4 千葉県教育研究会（印旛支会幹事） 久門 恵子（印西市立六合小学校校長）
※研究副部長との兼任
- * 印教研分散会責任者
- ◎話す・聞く 伊藤 忠昭（白井市立桜台小学校教頭）
◎書 く 猪熊 浩文（佐倉市立西志津中学校教頭）
◎読 む 飯野 浩二（栄町立安食台小学校教頭）

【参考資料 各部会役員一覧】

部 会	役 割	氏 名 (学 校 名)	専門部	担当分散会
1 部会	研究部長	南 望 (佐倉市立西志津中学校教諭)	ひざし	話す・聞く
	副部長	林 和子 (佐倉市立志津中学校教諭)	研修	読む
	副部長	菅原 豪 (佐倉市立臼井中学校教諭)	広報	書く
2 部会	研究部長	江ヶ崎深智瑠 (富里市立富里北中学校教諭)	ひざし	話す・聞く
	副部長	米塚 夏子 (成田市立遠山小学校教諭)	研修	話す・聞く
	副部長	香取 亜季 (成田市立美郷台小学校教諭)	研修	書く
	副部長	佐藤 直子 (成田市立桜田小学校教諭)	広報	書く
	副部長	畠山 幸子 (成田市立玉造小学校教諭)	研修	読む
	副部長	長崎 郁枝 (成田市立吾妻中学校教諭)	ひざし	読む
	副部長	岩田 裕之 (栄町立竜角寺台小学校教諭)	研修	読む
3 部会	研究部長	清水美也子 (白井市立南山小学校教諭)	ひざし	書く
	副部長	加瀬 朝 (印西市立木刈中学校教諭)	ひざし	話す・聞く
	副部長	角来 利子 (印西市立小倉台小学校教諭)	広報	読む
	副部長	伊藤久美子 (印西市立原小学校)	研修	話す・聞く
4 部会	研究部長	鈴木 言葉 (八街市立八街中学校教諭)	ひざし	書く
	副部長	菅澤 裕子 (八街市立実住小学校教諭)	広報	話す・聞く
	副部長	田口 枝里 (八街市立朝陽小学校教諭)	研修	読む
5 部会	研究部長	三須 彩 (四街道市立四和小学校教諭)	ひざし	書く
	副部長	峯島 洋美 (四街道市立四街道西中学校教諭)	広報	読む
	副部長	渡辺 清子 (四街道市立栗山小学校教諭)	研修	話す・聞く

《各部会研究部長の先生方へ》

*部会役員の担当専門部（研修，ひざし，広報）及び担当分散会（話す・聞く，書く，読む）について，この表に訂正事項等があれば，5月12日（金）までに佐倉市立井野小学校までご連絡ください。よろしく願いいたします。

佐倉市立井野小学校（印教研国語研究部事務局長 鈴木 正彦）

TEL 043（487）1541

FAX 043（462）5039

*研究部長の先生方の専門部担当は，例年通り，「ひざし」とさせていただきます。

*担当分散会は，ご本人の登録している分散会という意味ではなく，教研当日に司会，記録，受付等の仕事をいただく分散会となります。ですから，各部会からバランスよく選出していただかないと当日運営のできない分散会が出てしまいます。場合によっては登録している分散会とは異なる分散会を担当していただくことになりますが，分散会にできるだけ偏りがないように決めていただきますようご協力よろしく願いいたします。なお，各分散会での具体的な仕事内容につきましては，6月の役員会で決定いたします。

*各部会からの提案校に関する情報（研究主題，提案者氏名等）に変更や訂正がある場合は，速やかに佐倉市立井野小学校までお知らせください。

平成 28 年度 国語研究部会計決算書

(単位:円)

1 総額の部

平成28年度予算額	平成28年度決算額	比較	備考
640,000	640,000	0	

2 収入の部

費目	28年度予算額	28年度決算額	比較	備考
1 印教研配当予算	640,000	640,000	0	
2 繰越金	0	0	0	
計	640,000	640,000	0	

3 支出の部

費目	28年度予算額	28年度決算額	比較	備考
1 謝金	150,000	213,318	-63,318	講師・会場謝礼、編集委員・講師弁当代・飲み物代、編集委員への配本
研修 ひざし	170,000	160,091	9,909	
2 旅費	0	0	0	
3 資料代	48,000	35,000	13,000	教研发表資料代、各 部会資料作成代 光原印刷代
研修 広報	180,000	180,000	0	
4 通信運搬費	4,000	4,000	0	ひざし発送代、光原 発送代、郵送代、切手 代、書留郵便代
研修 広報	10,000	10,000	0	
通信	38,000	29,008	8,992	
5 その他	40,000	8,583	31,417	文書印刷代、封筒代、ラベルシート代、事務用品代
計	640,000	640,000	0	

平成 29 年度 国語研究部会計予算(案)

費目	29年度予算額	備考
1 謝金	180,000	講師・会場謝礼 編集委員・講師弁当代・飲み物代、編集委員への配本
研修 ひざし	160,000	
2 旅費	0	
3 資料代	48,000	教研发表資料代、各 部会資料作成代 光原印刷代
研修 広報	180,000	
4 通信運搬費	4,000	ひざし発送代 光原発送代 郵送代、切手代、書留郵便代
研修 広報	10,000	
通信	25,000	
5 その他	31,000	レポート用紙代、文書印刷代、封筒代、ラベルシート代、事務用品代
計	638,000	